

新政さやま 9月議会活動報告

2006年10月1日発行

発行責任者

大阪狭山市議会 新政さやま

〒589-8501 大阪狭山市狭山 丁目 2384-1

大阪狭山市役所内 新政さやま議員控え室

TEL072-366-0011 内線577



高齢者(歩行者)環境にやさしい循環バスの充実

【問】循環バスの充実はこれから迎える超高齢化社会、循環型社会を支える施策ではないか。

【答】年齢を重ねられ、自身の運転への不安から運転免許証を返納されたり、連れ合いの方を亡くされ、クルマそのものを処分されたりするなど、移動手段はマイカーから循環バスなど公共交通機関へ徐々に移行しつつある。また、ノーマルカーデー、パーク・アンド・ライド、奈良吉野で実施された郊外駐車場の設置や運営協力金の徴収など、自家用車の利用を控える環境保護の取り

9月定例議会 新政さやま代表質問 循環バス子育てボランティア活動などを質問

井上健太郎議員

組みを意識する場面が増えている。

【問】環境保護、循環型社会の貢献につなげる制度として公共施設駐車場の有料化を。西北回りを統合したことで不便になったとの声がある。もとのコースでの運行は。自由乗降のできるバスの運行について。

【答】費用対効果の面からも課題や問題点が多い。各ルートの乗客数の推移や市民の意見を踏まえ、次のダイヤ改正時に、乗り継ぎ方法の改善などを検討し、利便性の向上に努める。本市の路線の状況では自由乗降は認められないが、運行については市民の意見を聞きながらすすめていく。

子ども見守り活動について

【問】登下校時の見守り活動が定着しつつあり、「おはよう」「おかえり」といった挨拶

が交わされる光景に確かな安心を覚えます。この活動を里親ネットワークと発展させ、大人が持っている経験を伝承していく「安心できる道草体験」が生まれる見守り活動や、「元気」という子ども達の持っている力を生かした「子どもヘルパー活動」など、子どもが主体となった

地域活動は、世代を超えてお互いの自尊心を育み、市民力の向上にもつながると思うが「地域家庭の教育力向上プログラム」として将来の展望は。

【答】「子どもヘルパー」「ジュニアヘルパー」等の具体的な取り組み例は参考になる。これまで行ってきた提案や事業や地域への投げかけが新たな意味を持った斬新な提案や実践となつてフィードバックされるとともに、また、そういったものを期待している。

【要望】地域に見守られ、安心の中に生まれ育つ面へ

タウンミーティングのご案内

日時：10月19日(木)午後7時～9時

会場：コミュニティーセンター大会議室

講師：今西幸蔵氏 (天理大学人間学部人間関係学科教授
大阪狭山市市民公益活動促進委員会委員長)

主催：大阪狭山市議会会派 新政さやま

入場無料 お気軽にご参加ください。